

令和2年度 保険者機能強化予算（案）

令和2年度兵庫支部保険者機能強化予算（案）について

【令和2年度兵庫支部保険者機能強化予算】

- 医療費適正化等予算
→広報や意見発信、ジェネリック医薬品の使用促進等に充てられる予算枠（約2,590万円）
- 保健事業予算
→データヘルス計画や受診勧奨対策、重症化予防対策等の保健事業に充てられる予算枠（約1億5,300万円）

区分	取組名	経費	予算枠
医療費適正化等予算	医療費適正化対策経費	11,439,670円	25,901,000円
	広報・意見発信経費	14,186,700円	
	計	25,626,370円	
保健事業予算	健診経費	98,551,307円	153,066,000円
	保健指導経費	14,082,179円	
	重症化予防事業経費	20,042,000円	
	コラボヘルス事業経費	15,060,540円	
	その他の経費	5,089,700円	
	計	152,825,726円	
合計		178,452,096円	178,967,000円

令和2年度パイロット事業・調査研究事業について

(1) パイロット事業・支部調査研究事業 審査結果について

支部が医療費適正化や保健事業等の先駆的な取り組みを行うものであり、効果的な取り組みについては全国展開となる。採用されれば本部予算で実施することになり、不採用であれば本部の判断により支部保険者機能強化予算にて実施する場合がある。令和2年度の「パイロット事業・調査研究事業」の審査結果は以下のとおり。

(参考1) 兵庫支部パイロット提案

No	区分	新規/継続	事業名	採否	判断
1	パイロット	新規	データブックを活用したジェネリック医薬品軽減額通知	×	×
2	パイロット	新規	事業所まるごと健康づくりツールの提供	×	×
3	パイロット	継続	健診前ヘルスアップ促進事業(効果検証)	○	○
4	調査研究	新規	特定健診長期未受診者の受診に繋がる要因及び健康状態の分析	×	○
5	調査研究	新規	社長の健康状態が従業員の健康に与える影響分析	×	○

※全国の採用件数はパイロット事業新規3件（応募件数32件）、調査研究事業新規2件（応募件数19件）

(参考2) 年度別採用件数推移

支部名	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	合計
兵庫						1	1	2	2	2	1	1	10
全国計	20	12	14	14	11	9	10	23	20	26	17	13	189

(2) パイロット事業への取り組みについて（令和2年度 事業計画）

- 昨年度実施したパイロット事業（健診前ヘルスアップ促進事業）の評価を行う。
- 令和3年度に向けて、支部内でパイロット事業プロジェクトチームを立ち上げ、事業の検討を行う。

※KPIの設定なし

令和2年度 兵庫支部保険者機能強化予算（案）について

1. 支部医療費適正化等予算

(1) 医療費適正化対策経費

(円)

担当 (区分)	取組名	事業の概要	予算額		
			元年度	2年度	差額
企画 (継続)	①花粉症に対するGE軽減額通知事業（効果検証）	兵庫支部ではアレルギー薬の使用率が全国平均より低く、この分野に特化することで兵庫支部のジェネリック使用率が改善することが見込まれるため、同分野に絞ったジェネリック医薬品軽減額通知事業を実施。（R2.2月実施）令和2年度は令和元年度に行った通知の効果検証を行う。	3,102,000	880,000	▲2,222,000 (効果検証)
企画 (新規)	②ジェネリック医薬品実績リストの作成及び封入封緘業務委託	ジェネリック医薬品県内流通リストの作成を委託し、リスト及び調剤薬局向けのジェネリックのお知らせを県内調剤薬局へ送付を行う。	—	1,175,900	—
企画 (新規)	③事業所に対する禁煙外来受診促進DM	平成30年度支部調査研究事業にて「禁煙外来による禁煙効果の分析」の結果、受診者の禁煙成功率が高まることが確認された。この分析結果及び禁煙外来実施医療機関等を掲載したリーフレットを作成し、喫煙率の高い事業所へ送付し従業員へ配布いただく。	—	1,097,250	—
企画 (新規)	④多剤服薬通知事業	レセプトデータを分析し、多剤服薬者に対し、かかりつけ医・かかりつけ薬局を持つことの必要性及びお薬手帳を1冊にまとめ携帯する啓発を行う。	—	5,940,000	—
業務 (新規)	⑤柔道整復療養費受診者に対する啓発文書の送付	兵庫支部は柔道整復療養費が全国平均よりも高く、適正受診の普及啓発の必要性を感じている。直近1年間で6か月以上受診している者を対象に、柔道整復療養費のかかり方啓発チラシを送付する。	—	1,430,000	—
レセ (継続)	⑥医療機関事務担当者を対象とした「健康保険事務説明会」の開催	医療機関窓口担当者に健康保険制度・事務手続き（業務上・第三者行為、高額療養費・限度額等）レセプト請求における留意点等に関する説明会を実施し、制度等の周知および理解を深めていただき、保険給付の適正化を図る。	194,400	341,000	+146,600
レセ (新規)	⑦負傷原因届の医療機関設置協力依頼	表面は第三者行為の制度についての案内、裏面は負傷原因届の様式を印刷したA4の用紙と、第三者行為の制度についてのポスターを医療機関に設置・配布してもらうよう依頼する。外傷での受診時に医療機関側から記入を患者様に依頼してもらえば、提出期間の短縮と提出率の向上につながる。	—	575,520	—
医療費適正化対策経費 計				11,439,670	— 4

令和2年度 兵庫支部保険者機能強化予算（案）について

1. 支部医療費適正化等予算

(2) 広報・意見発信経費

(円)

担当 (区分)	取組名	事業の概要	予算額		
			元年度	2年度	差額
共通 (継続)	⑧紙媒体による広報（全事業所に送付するチラシ等印刷及び業務用のリーフレットや冊子の作成等）	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主周知のための納入告知書同封チラシ作成（毎月、全事業所へ発送） ・健康保険各種制度の周知のための手引き作成 ・限度額適用認定申請セットの作成 ・卓上月別制度周知リーフレット（カレンダー型）の作成 ・任意継続被保険者宛に送付するチラシ作成（制度周知、加入者サービス向上のため、退職予定者や事業所に配布） など 	7,377,086	9,786,700	+ 2,409,614 (R2年度新規) ・限度額セット ・任継セット ・柔整適正受療ガイドブック
企画 (新規)	⑨チラシ・ポスター等作成に係る年間デザイナー契約	各広報誌や事業ごとにチラシ等を作成しているが、担当者の人事異動等により、一貫したデザインでの加入者広報ができておらず、支部として広報意見発信力が不足している。そのため、デザイナーと年間契約することで通常業務の効率化を図り統一されたデザインで加入者への訴求力を高める。	—	1,100,000	—
企画 (新規)	⑩健康川柳ステッカー作成	兵庫支部の一人当たり医療費は全国平均を上回っており、事業所内で目に留まる場所に設置できる健康に関する川柳を記載したステッカーを作成し、加入者の健康意識の向上及び健康行動を促す。	—	495,000	—
企画 (新規)	⑪医療費適正化ポスター作成	兵庫県内の約74,000の対象事業所に送付する生活習慣病予防健診受診の案内発送時に、「上手な医療機関のかかり方」を掲載したポスターを同封し、加入者に広く広報することで、医療費適正化に繋げる。	—	2,805,000	—
広報・意見発信経費 計				14,186,700	—

令和2年度 兵庫支部保険者機能強化予算（案）について

2. 支部保健事業予算

(1) 健診経費

(円)

担当 (区分)	取組名	事業の概要	予算額		
			元年度	2年度	差額
保健 (継続)	⑫生活習慣病予防健診及び特定健診関係チラシの作成	本部作成リーフレットを補完するチラシや実施機関リスト等を作成し、生活習慣病予防健診、特定健診及び特定保健指導の対象者に案内する。	8,607,500	7,535,000	▲1,072,500
保健 (継続)	⑬生活習慣病予防健診の個人宅宛て受診勧奨	GISを用いて生活習慣病予防健診未受診者密集地域を選定し、前年度未受診者で被保険者20人以下の事業所に勤務する被保険者個人宅宛てに、自宅近隣の健診機関を案内するパンフレットを送付し受診勧奨を実施する。	6,588,000	6,160,000	▲428,000
保健 (継続)	⑭生活習慣病予防健診の出張健診案内	県内で実施を予定している出張健診について、GISを活用して健診実施会場付近に所在する事業所を選定し、受診勧奨を実施する。	1,320,000	1,577,600	+257,600
保健 (継続)	⑮任意継続被保険者に対する健診案内	任意継続被保険者に対し、健診案内を作成して送付する。	937,440	1,140,700	+203,260
保健 (新規)	⑯生活習慣病予防健診未利用事業所への勧奨	生活習慣病予防健診未利用事業所に対し、労安法の定期健診に比べ、充実した検査内容であることや、保険料からの補助であり、多くの事業所が利用していることを伝え、利用促進につなげ受診率を向上させる。年度初めの健診案内後、年度下期11月初旬までに案内し、年度末に向けた受診率向上を狙う。	—	1,072,500	—
保健 (継続)	⑰事業者健診データ取得勧奨業務等の外部委託	定期健診結果を協会けんぽへ提出することの同意書未取得事業所及び同意書取得済事業所に対する以下の業務を委託実施する。 ・同意書未取得事業所への勧奨文書送付及び電話勧奨 ・データ作成に係る契約未締結健診機関への契約依頼及び契約済・契約予定健診機関へのデータ作成依頼 ・事業所への健診結果票（写）の提供依頼 ・健診結果票（写）のデータ化 ・平成29年度以前に取得した同意書に記入された受診健診機関にデータ作成依頼を行っているが、受診先を変更していることが多いため、受診機関や受診月等の再確認	26,626,740	37,966,660	+11,339,920

令和2年度 兵庫支部保険者機能強化予算（案）について

2. 支部保健事業予算

(1) 健診経費（続き）

（円）

担当 (区分)	取組名	事業の概要	予算額		
			元年度	2年度	差額
保健 (継続)	⑱大規模事業所に対する生活への切替勧奨、新適事業所への生活受診勧奨の外部委託	従来、生活習慣病予防健診の受診勧奨は健診機関に委託していたが、健診機関が特定地域に過密していることや健診機関のマンパワー不足等により効果効率的な勧奨ができなかったことから、外部委託により勧奨を実施することにより受診率向上を図る。	6,027,840	8,920,233	+2,892,393
保健 (継続)	⑲特定健康診査の無料集団健診	無料集団健診を実施する健診機関に対して下期の集団健診追加実施を依頼し、被扶養者宛にDMを発送する。被扶養者住所に応じて近隣エリアの会場を案内できるよう三種類の健診日程表を作成し、対象者に合わせて近隣の集団健診会場を案内する。オプション検査（血管年齢測定器等）を付加することで、受診意欲の向上を図る。	15,845,070	16,509,526	+664,456
保健 (継続)	⑳特定健診受診券の封入・封緘業務委託	年度途中加入の被扶養者に対する受診券の発送が早期に行えていない課題を克服するため、当該業務を外部委託により実施することで業務の効率化を図るとともに、早期発送を行うことにより受診率上昇を図る。	3,441,620	2,448,600	▲993,020
保健 (継続)	㉑市町と連携した特定健診とがん検診の同時受診勧奨	市町と連携し、特定健診とがん検診等を同時に受診可能な日程を案内した受診勧奨文書を作成して未受診者宛てに送付することにより特定健診の受診率向上を図る。 また、セット健診の実施が可能な健診機関についてもチラシを同封し、近隣居住の未受診者に併せて広報を行う。	4,223,340	6,307,488	+2,084,148
保健 (新規)	㉒商業施設を活用した無料集団健診受診勧奨	知名度及び交通の利便性が高い西宮ガーデンズを健診会場とし、阪急電鉄沿線の特定健診未受診者に受診勧奨を実施する。また、経年の受診状況を参考にし、日程拡大を図り受診率向上に繋げる。	—	1,397,000	—
保健 (継続)	㉓健診推進経費に係る実施計画	生活習慣病予防健診実施機関において、利用勧奨の結果、前年度の実績を上回る実施数を行った機関に対し、報奨金を支払う。	7,000,000	7,000,000	0

令和2年度 兵庫支部保険者機能強化予算（案）について

2. 支部保健事業予算

(1) 健診経費（続き）

（円）

担当 (区分)	取組名	事業の概要	予算額		
			元年度	2年度	差額
保健 (継続)	㊸事業者健診HbA1c追加検査費	血糖検査において、随時血糖検査のみ実施した方へHbA1c検査を追加実施し、データ提供に結びついた場合、検査費用を協会が負担する。	378,000	396,000	+18,000
保健 (継続)	㊹健診実施機関実地指導旅費	実施要綱および事務処理要領に基づく、健診・保健指導実施機関に対する実地指導および打ち合わせ等のための旅費。	120,000	120,000	0
健診経費 計				98,551,307	—

令和2年度 兵庫支部保険者機能強化予算（案）について

2. 支部保健事業予算

(2) 保健指導経費

(円)

担当 (区分)	取組名	事業の概要	予算額		
			元年度	2年度	差額
保健 (継続)	②⑥ 保健指導機関委託費	システム対応ができない特定保健指導の委託費を支払う。	0	1,975,109	+1,975,109
保健 (継続)	②⑦ 中間評価時の血液検査費	特定保健指導対象者に該当し、特定保健指導実施開始後3か月以上の生活習慣病改善努力を実施している方へ血液検査を実施。	972,000	1,980,000	+1,008,000
保健 (継続)	②⑧ 医師謝金	保健指導に関して医学的な意見・助言を行う医師に対して支払う報酬。	80,000	80,000	0
保健 (継続)	②⑨ 保健指導用パンフレット作成等経費	保健指導の際に使用するパンフレット等を購入。	181,000	181,000	0
保健 (継続)	③⑩ 保健指導用事務用品費 (測定機器類等)	保健指導の際に使用する測定機器等を購入。	230,000	230,000	0
保健 (継続)	③⑪ 保健指導用図書購入費	保健指導者のスキルアップのための専門書等を購入。	55,000	55,000	0

令和2年度 兵庫支部保険者機能強化予算（案）について

2. 支部保健事業予算

(2) 保健指導経費（続き）

（円）

担当 (区分)	取組名	事業の概要	予算額		
			元年度	2年度	差額
保健 (継続)	㊸公民館等における特定保健指導	協会保健師等により実施する公民館等での特定保健指導の会場賃借料。	480,000	480,000	0
保健 (継続)	㊹保健指導推進経費	外部委託における特定保健指導の実績を向上させるため、当年度の特定保健指導終了者数が前年度実績を上回った委託機関に対して、報奨金を支払う。	1,726,000	2,171,070	+445,070
保健 (継続)	㊺支部内常設会場における来所型特定保健指導	初回面接の実施方法について、健診実施機関、事業所訪問、支部来所と選択肢を広げて利用案内を行うことにより、特定保健指導の実施率向上を図る。 また、支部常設の保健指導室の活用により、指導対象者の健康行動への意欲の向上を図る。	932,314	330,000	▲602,314
保健 (新規)	㊻特定保健指導利用勧奨業務の外部委託	兵庫支部にて新規事業所等へ特定保健指導案内文書を郵送し、その後の利用勧奨の電話と日程調整を外部委託により実施する。	—	6,600,000	—
保健指導経費 計				14,082,179	—

令和2年度 兵庫支部保険者機能強化予算（案）について

2. 支部保健事業予算

(3) 重症化予防事業経費

(円)

担当 (区分)	取組名	事業の概要	予算額		
			元年度	2年度	差額
保健 (継続)	⑳未治療者受診勧奨に係る実施計画	健診で要治療と判定された加入者のうち、健診後3か月以内に医療機関を受診しなかった方に対し、文書の送付や電話により受診勧奨を実施。	54,500	0	▲54,500
保健 (継続)	㉑重症化予防対策に係る実施計画	レセプト分析業者を活用し、レセプト及び健診受診者リストより糖尿病性腎症病期を予測の上、以下の内容で事業を委託により実施する。 ①糖尿病性腎症該当者に対し、指導業者より重症化予防プログラムの参加勧奨を実施する。その後、参加意思を示した対象者に対し、6か月のプログラムを実施する。 ②糖尿病性腎症の治療中断者に対し、指導業者による受診勧奨を実施する。受診後は重症化予防プログラムの参加勧奨、および6か月のプログラム実施につなげる。	20,492,600	20,042,000	▲450,600
重症化予防事業経費 計				20,042,000	—

令和2年度 兵庫支部保険者機能強化予算（案）について

2. 支部保健事業予算

(4) コラボヘルス事業経費

(円)

担当 (区分)	取組名	事業の概要	予算額		
			元年度	2年度	差額
企画 (継続)	㊸わが社の健康宣言事業	健康経営の普及・健康宣言事業所数の増加を目指し、「健康宣言リーフレット」や「健康宣言取組事例集」を勧奨ツールとして使用する。健康宣言された事業所の社内外への発信のため、健康宣言登録認定証、アクリルパンフレット立て等を事業所へ送付する。また、健康宣言事業所のうち、優良な取り組みを行っている事業所へ支部長表彰（兵庫県との同時表彰制度）を行い、さらなる健康経営の取り組みを推進する。	1,370,304	2,194,940	+824,636
企画 (継続)	㊹健康経営セミナーの実施	①健康経営セミナー (兼兵庫県健康づくりチャレンジ企業アワード表彰式) 兵庫県との共同開催により実施。その他、経済団体等の後援を依頼する。健康経営セミナーの冒頭には兵庫県健康づくりチャレンジ企業アワードの表彰式を実施する。 セミナーでは外部講師による健康経営の講義を行うことにより健康経営の一層の周知浸透を図る。 ②健康経営優良法人セミナー 経済団体等と協力し、健康経営優良法人2021の認定を目指したセミナーを開催する。	3,371,814	2,305,600	▲1,066,214
企画 (継続)	㊺健康講座の外部委託	健康宣言事業所に対するインセンティブ、及び特定保健指導実施率向上のため、事業所従業員を対象にした健康講座を外部委託により実施する。	8,175,000	10,560,000	+2,385,000
コラボヘルス事業経費 計				15,060,540	—

令和2年度 兵庫支部保険者機能強化予算（案）について

2. 支部保健事業予算

(5) その他の経費

(円)

担当 (区分)	取組名	事業の概要	予算額		
			元年度	2年度	差額
企画・保健 (継続)	㊴ 健診前ヘルスアップ促進事業 (令和元年度パイロット事業)	過去の健診受診状況から健診受診月を予測し、予測月の2か月前に過去3年間の健診結果を記載したリーフレットを送付する。健康への意識が高まる健診受診前にアプローチすることで行動変容を促す。	0	1,463,000	+1,463,000
保健 (継続)	㊵ メンタルヘルスセミナーの実施	メンタルヘルスセミナーを計画し開催する。なお、参加受付以降の業務は委託する。	1,371,680	1,410,200	+38,520
企画 (新規)	㊶ 健診受診後早期の未治療者受診勧奨	血圧または血糖値の健診結果が要精検や要治療となった被保険者をシステムより抽出し、個人宅へ支部で作成した受診勧奨通知文及び啓発物を発送する。	—	2,046,000	—
企画 (継続)	㊷ 兵庫県・国保連と連携した特定健診 共同広報の実施	兵庫県が保険者等に声掛けをし、推進している特定健診受診率向上キャンペーン期間に併せて、三者連名でポスターを作成し広く県民に健診受診を訴える広報を実施する。	167,400	170,500	+3,100
その他の経費 計				5,089,700	—